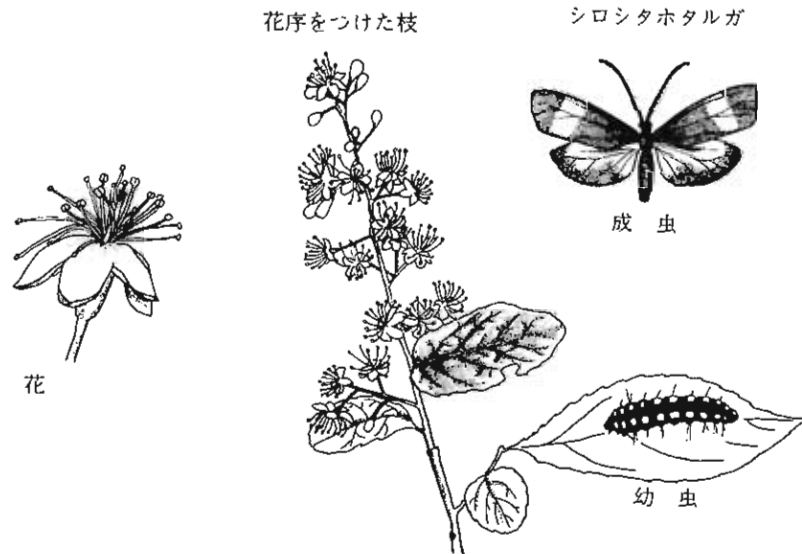


樹木だより

サワフタギ

6月初めころ、枝先に白い小さな花を多数つけ、円錐花序になる。花は5弁でウメの花に似ているが、合弁花であるので花びらがはがれない。雄しべは多数あり花冠よりも長い。葉は倒卵形で細かい鋸歯がある。高さ1～3mの低木で、北海道での分布は雪の深い日本海側に限られている。秋には鮮やかなルリ色の果実をつける。

花の咲く頃には、全体が黒っぽくて背中に黄白色の紋が2列に並んでいる毛虫がついていることが多い。これはシロシタホタルガの幼虫である。サワフタギだけにつき、葉だけでなく花も食べる。成虫は7月に出現する。全体に黒褐色のがで、翅に白色のまだらがあり頭部が赤い。



(造林科 菊沢喜八郎)